

# 2015西穂高冬山合宿

## 期 間

平成26年12月28日(日)～29日(月)

## 参加メンバー

福澤卓三、河本善照

## コースタイム

12月28日 池袋福澤宅(8:40)－新穂高ロープウェイ駅(14:30)  
－西穂高山荘幕営地(16:30)

12月29日 幕営地(7:40)－丸山(8:40)－ 独標(10:25)  
－幕営地(12:00)－ 西穂高口ロープウェイ駅(13:30)

記 録 福澤 卓三

## 12月28日

河本が横須賀から自家用車で池袋の福澤宅まで来て、福澤の四駆の車に乗り換え出発。大型連休の前の大渋滞を予想して、首都高速にのらず下を通過して中央高速にのった。なんと下も高速もすいていて拍子抜けした。中央高速も快調に飛ばし順調に新穂高に到着。新穂高のロープウェイ駅の前で宮沢夫妻が差し入れを持って待っていてくれた。久しぶりに会ったが元気そうでなによりである。ロープウェイも待たずにのれ、明るいうちに幕営地につきそうだ。西穂高口から風もなく、晴れ渡っている天気の中をいざ出発。二人なので、荷物はまあまあ重いけど、若いころのキスリングの重さとは雲泥の差である。森林帯の中を調子よく登っていくと樹林帯の間から西穂高の稜線が青空の中によく見えた。



独標－ピラミッドピーク－西穂高

1ピッチほど登っていくと、西穂高山荘がみえた。そのまま快調に登り2ピッチで明るいうちに西穂山荘の幕営地に着いた。7～8張りのテントが張ってあった。



天幕をはり、夕食を作るころから雪が降ってきた。寝る頃にかかなりの勢いになった。

### 12月29日

朝は3時に起床。朝食をとったが、30cmくらいの積雪があり、見晴らしも、天気も悪くトレースもないことから明るくなるまで待つことにして、天幕の中で待機していたが、それほど寒さは感じないが、河本が風邪をひいたみたいで寒いというので、山荘に行って、ストーブにあたっていたが、ほかのパーティーが動き始めたので、我々も準備をして7時40分に出発。しかし1ピッチも行かないうちに、トレースがないために、



先行パーティーが引き返してきた。先行パーティーで西穂まで行ったのは単独行の一人のみで、行ってからかなり時間がたっていたので、自分たちが先頭になり新雪のラッセルがまっていた。風の強いところはクラストしていて、アイゼンがよくきいた。

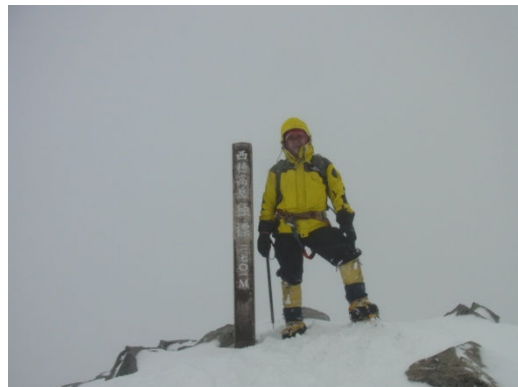
トップを交代でしながら登っていく。1ピッチで広いピークである丸山についた。丸山まではルートの悪いところはない。斜面をのぼる感じで丸山あたりから稜線になる。日が昇るにしたがって、風が弱くなり気温も上昇してきた。ひさしぶりのラッセルなので多少きつい、深いところではひざまで、足首までのところが多いので、それほどのラッセルではない。このルートは風が強く、腰や胸までのラッセルはないだろう。この日も新雪が風にとばされているところが多い。



視界も良くなり、夏道は完全に雪に埋もれてわからないが、迷うことはない。バランスを使うところもほとんどない。稜線にでると信州側が切れているところがあるので、それさえ気をつければ問題はない。飛騨側をトラバサ気味にいく。独標の手前で独標と間違えたところを過ぎて、多少バランスを使用するところを登りきると独標にとびでた。今日の予定は西穂高の往復であるが、時間と天候、西穂高までのルートを考えると、少しきびしいのでここまでにした。河本とお互いに写真をとってから、引き返すが最初の下りは悪かった。ザイルをだそうとしたが、バランスで慎重にくださった。こういうところで、普段の鷹取山のトレーニングがいきってくる。ここだけ緊張して、西穂高山荘まで戻った。気温が上がり視界も良くなったので、独標まで登ってくる多くの登山者とすれちがった。昨日西穂山荘から槍ヶ岳までめざしたパーティーも、天気のリcoveryが見込めず、西穂高手前でビバークしてひきかえしてきた。我々はそのまます山して帰京した。



独標にて 河本会員



独標にて 福澤会員